

30 愛 総
平成30年4月23日

愛川町議会議長
小島 総一郎 殿

愛川町長 小野澤 豊



愛川町議会意見交換会における意見等について（回答）

平成30年4月11日付で報告のありましたこのことについて、別紙
のとおり回答いたします。

（事務担当は、総務部総務課広報・シティセールス班）

「平成29年度 愛川町議会意見交換会における意見・要望等」に対する回答

No. 1

＜意見、要望要旨＞

買い物弱者対策として、コピオの敷地内に町内循環バスのバス停を設置するよう努めること。

＜回答＞

買い物弱者や交通弱者に配慮したルートのあり方等については、今後の社会情勢や利用状況の変化等を的確に見極めつつ、高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画と連携した中で、民間の交通事業者や関係機関と連携を図るとともに、公共交通検討委員会の意見を伺いながら、本町の実態に見合った対策を検討してまいります。

No. 2

＜意見、要望要旨＞

町のPRのため、町独自の原動機付自転車オリジナルナンバープレートを作成するよう努めること。

＜回答＞

地域への愛着を深めることに加え、走る広告塔として、町内外へ愛川町をPRするため、現在、作成に向けて協議・調整を進めているところであります。

No. 3

＜意見、要望要旨＞

消防団員の確保対策については、行政区と町が情報を共有できるしくみづくりに努めること。

＜回答＞

消防団員の確保対策における現状について、引き続き、町広報誌等による町民への情報提供と併せ、区長会議等の機会を捉えての情報提供や報告に努めてまいります。

また、消防団員確保における地域の諸問題を明らかにするため、管轄する消防団員と町が連携し、行政区が行う消防団員確保の具体的な課題について、ご意見を聞きながら情報共有できる仕組みづくりに取り組んでまいります。

No. 4

＜意見、要望要旨＞

農業生産工程管理（GAP）の認証取得の取り組みについて推進すること。

＜回答＞

GAPの実施及び認証取得については、農業者の皆様が主体となって取り組んでいただくものでありますことから、今後、農協や農業関係団体と協力し、生産者の意向や自主性を尊重した上で、研究を進めてまいりたいと考えております。

No. 5

<意見、要望要旨>

高齢者で運転免許証の自主返納をされた方への支援については、今後も継続して行うよう努めること。

<回答>

平成29年度より開始いたしました免許自主返納支援事業については、当初見込んでいた20名を大幅に上回る61名の方から申請をいただきました。

今後とも、高齢者が自主的に免許を返納しやすい環境整備に努めていく必要がありますことから、平成30年度においては、町内循環バス回数券の交付期間を5年間に延長するなど、制度を拡大した中で、支援を継続してまいります。

No. 6

<意見、要望要旨>

高齢者の外出を支援するため、交通費等の助成制度を導入するなど総合的な対策を行うよう努めること。

<回答>

本町では、高齢者の外出機会の拡大支援を図ることを目的に、「かなちゃん手形」割引乗車券の購入費助成を、平成19年度から実施しているところであります。

また、平成30年度からは、新たに、「電動アシスト三輪自転車」の購入費助成を開始し、高齢者の外出支援対策の充実に努めているところであります。

高齢化の進行に伴い、外出支援については、今後、ますます重要となってまいりますことから、先進事例等も参考にしながら、本町の実情に即した施策が展開できるよう、ボランティアや関係機関等とも連携を図り、総合的な対策の検討に努めてまいりますと考えております。

No. 7

<意見、要望要旨>

2020年東京オリンピックに向けたオリンピックチームの事前キャンプについて、本町にも誘致ができるよう努めること。

<回答>

事前キャンプ誘致については、選手をはじめ、関係スタッフや観光客を受け入れることができる宿泊施設があることが大前提になりますが、本町においては、このような大規模な宿泊施設がない状況となっております。

また、ボランティアなど、人材面での受け入れ体制の構築を図る必要があるほか、キャンプ地としての基準を満たすスポーツ施設やアクセス道路等の整備、交通手段の確保など、様々な課題があり、こうしたことを勘案いたしますと、本町においては、事前キャンプの誘致は困難であるものと考えております。